

【靴下の口ゴムの傷】

…6~7月のかけて、口ゴムがちょっと強めと感じた靴下着用にて…

- ・圧迫による皮膚血流阻害圧は4. 2kPa(32mmHg)…？ 皮膚全部均一……？
- ・靴下の口ゴムによる皮膚へできる傷が、圧迫が高いほどできる……？
- ・皮下組織の違いとの関係は？
- ・汗をかく夏期に多いが……？ 汗腺が多い部位との関係は……？



拡大



< 傷の状況 > 着圧の高い①前面(すね)にはできず、ふくらはぎの②側面や③後面にでき易い



着圧計測して観ると！



- ① 3. 17kPa (31. 7hPa) (23.8mmHg)
- ② 1. 12kPa (11. 2hPa) (8.4mmHg)
- ③ 2. 00kPa (20. 0hPa) (15mmHg)

傷ができた部位

ただし、傷ができてから着圧測定行った為、それまでに洗濯し、繰り返し着用したので全体の着圧は低めと予想される